

# 健康経営会議 2016

## トッパンの健康経営への取り組み

---

平成28年9月5日

凸版印刷株式会社

専務取締役 人事労政本部長 大久保 伸一

# 企 業 概 要

創業 1900年（明治33年）  
資本金 1,049億円（単体）  
売上高 単体：7,736億円  
（2016年3月末） 連結：1兆4,746億円

従業員数 単体：8,987人  
（2016年3月末） 連結：46,705人

社名の由来 大蔵省（現財務省）出身の技術者が中心になり、当時の最新鋭製版技術である「エルハート凸版法」をもって、1900年に設立



本社ビル(秋葉原)

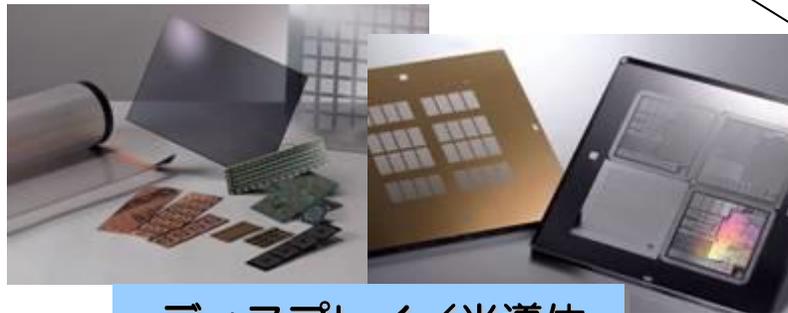


小石川ビル



エルハート凸版法

エレクトロニクス 10%



ディスプレイ/半導体

情報コミュニケーション 63%



金融証券



生活・産業 27%



パッケージ



産業資材



高機能部材

出版印刷



商業印刷

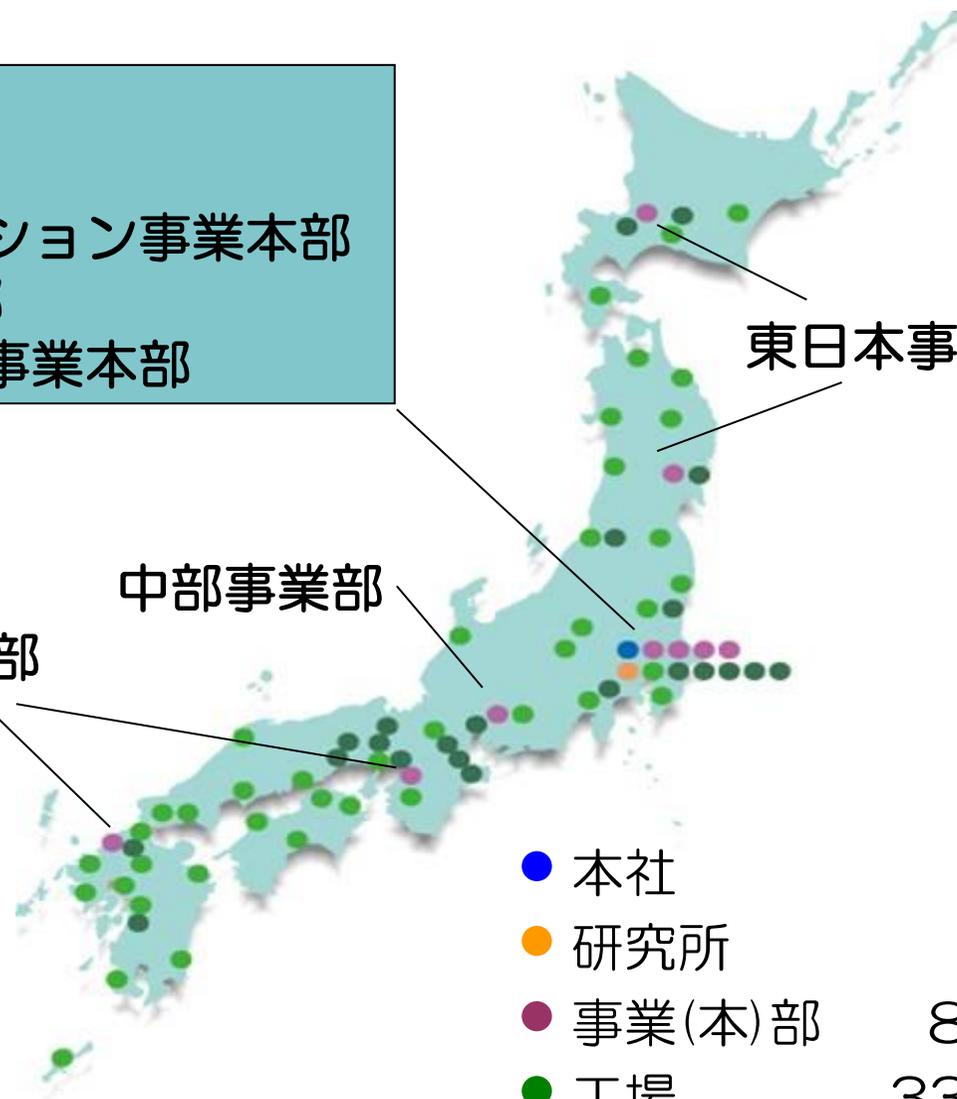
本社  
総合研究所  
情報コミュニケーション事業本部  
生活・産業事業本部  
エレクトロニクス事業本部

東日本事業本部

中部事業部

西日本事業本部

グローバル展開も  
積極的に行っている。  
海外13カ国1地域に進出。  
海外現地法人は約70社、  
従業員数は約14,000人。



- 本社
- 研究所
- 事業(本)部 8ヶ所
- 工場 33ヶ所
- 営業所 44ヶ所

## TOPPAN VISION 21



私たちは  
常にお客さまの信頼にこたえ  
いろど<sup>い</sup>ち<sup>ち</sup>わざ<sup>わ</sup>  
彩りの知と技をもとに  
こころをこめた作品を創りだし  
情報・文化の担い手として  
ふれあい豊かなくらしに貢献します

## 「企業は人なり」

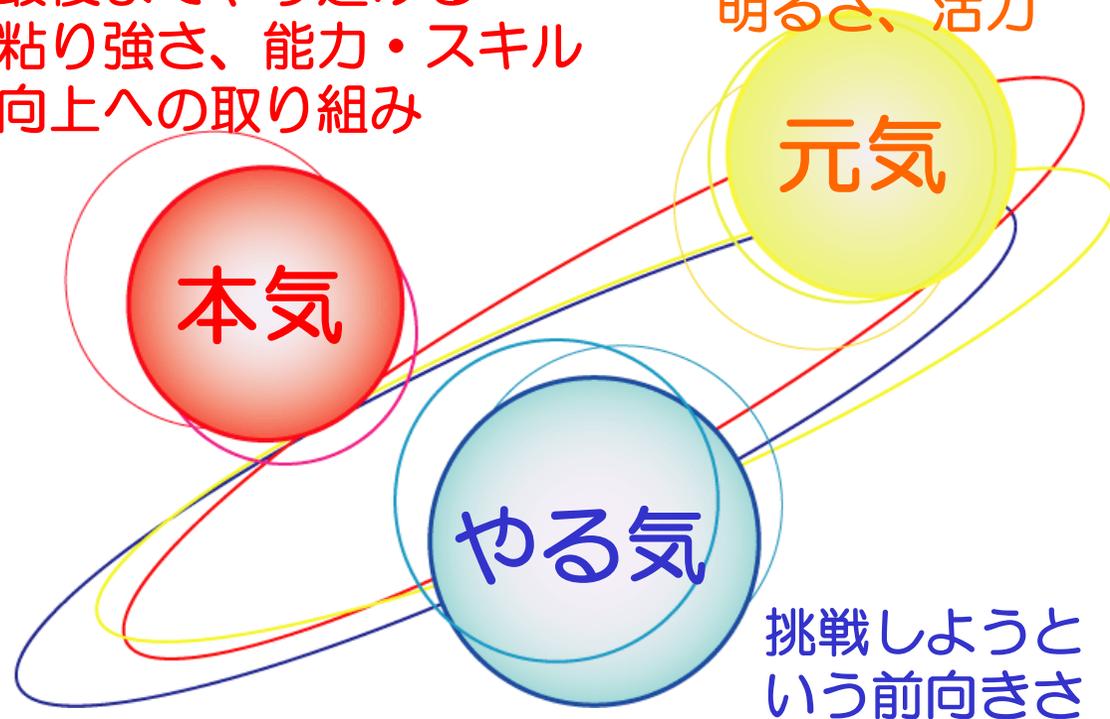
という信念を持つ

人事労政部門のお客様は  
従業員およびその家族と  
いうことを意識し、行動する

多様な人財が、それぞれの  
力を十分に発揮することで  
会社の競争力を生み出す  
環境を整備する

最後までやり遂げる  
粘り強さ、能力・スキル  
向上への取り組み

心身の健康  
明るさ、活力



挑戦しよう  
という前向きさ

信頼に基づいた上下間のコミュニケーション  
明確なビジョン・目標に沿った行動、  
信賞必罰のメリハリのある体制づくり  
オープンで「公平」「公正」な風土

# トッパンの健康経営

- ・昨今、従業員の健康管理を経営視点から考える「健康経営」という考え方が大きな潮流となりつつある。
- ・トッパンでは、創業以来人間尊重の基本理念に基づき、従業員の健康に関する様々な取り組みを、会社および健康保険組合を中心に進めてきた。
- ・今般改めて「健康経営」という視点から会社・健保それぞれで行われている取り組みや計画を見える化、体系化、整理し、さらなる従業員の健康の保持・増進にむけた、今後の方針として明確化した。

## ①「健康経営宣言」の制定

- 社長名で新規に宣言を制定。  
(2015年10月29日制定)
- 従業員や家族の更なる健康づくりを推進するとともに、健康関連事業を通じ、世の中全ての人々の健康づくりを支援し、社会に貢献する、2つの軸を打ち出している。
- 7つの重点項目を掲げている。

### TOPPAN

### 健康経営宣言

トッパングループは、従業員が心身ともに健康で、個性や能力を最大限に発揮することが、企業の発展につながると考えます。

1900年の創業以来培ってきた「人間尊重」の基本理念に基づき取り組んでいる健康の保持・増進活動を前進させ、会社・労働組合・健康保険組合そして従業員とその家族が一体となって、健康づくりを推進していきます。

さらには、当社の健康に関する様々な事業活動を通じて、世の中全ての人の健康づくりに資することで社会に貢献していきます。

#### <重点項目>

私たちは、積極的に挑戦する「やる気」、心身ともに健康で、明るくいいきと活力に満ちた「元気」、そして、真剣に取り組む、最後までやり遂げる「本気」という3つの「気」を持って仕事に取り組める状態を「健康」ととらえ、従業員とその家族の健康の保持・増進のため、より良い健康増進のしくみも取り入れながら、以下の項目を中心に実施します。

1. 職場の活性化施策や、幅広い健康施策に積極的に取り組むことで、心身の健康を保持・増進する。
2. 4つのケアを充実させ、メンタルヘルス疾患者を減少させる。
3. 安全教育やリスクアセスメント活動を強化し、労働災害を減少させる。
4. 健康診断受診及びその結果に基づきフォローアップの徹底により、従業員とその家族の疾病を予防する。
5. 糖尿病を中心とした重症化予防に取り組む、腎症等の合併症や人工透析を防ぐ。
6. 労働時間短縮、年休取得促進、育児・介護支援等、仕事と家庭の両立への取り組みを推進する。
7. 会社、健康保険組合をはじめ、トッパンが持つ様々なノウハウ・機能を活用して、健康の保持・増進に関する先進的なソリューションの開発・改良に取り組み、健康で安心な社会づくりに貢献するヘルステック領域の事業を推進する。

制定日 平成27年10月29日

凸版印刷株式会社

代表取締役社長 金子真吾

※健康経営とは、NPO法人健康経営推進会の定義に基づきます。

## ②健康経営推進組織の明確化

- ・社長が「健康経営責任者」、人事担当役員が「健康経営推進責任者」となり、さらなる健康経営を牽引。
- ・健保組合と従業員の健康の保持増進を協議、推進する「健康経営推進協議会」を本社に設置。  
労働組合、各事業所、診療所などと連携をとり施策を実行。

# 具体的な取組み

## 全社横断型スポーツイベントの開催

トッパングループ全体に呼びかけ、  
定期的に労使共催のスポーツイベントを開催。

毎回、イベントの企画から当日の運営まで、すべて社員による手作りで行われ、経営層から一般層まで、家族も含め約4,000名が参加。

全社横断の参加型イベントとして、交流の場となるとともに、  
グループの一体感を醸成。

平成22年9月5日

西武ドーム

平成24年12月9日

としまえん

平成26年10月5日

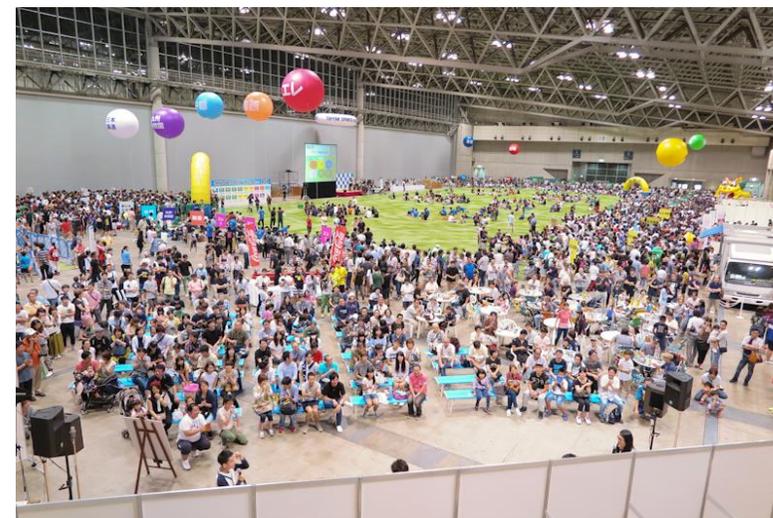
よみうりランド

(台風のため中止)

平成27年9月13日

幕張メッセ

## 労使共催TOPPAN SPORTS FESTIVAL 2015 in 幕張メッセ



労使共催「TOPPAN SPORTS FESTIVAL 2015 in 幕張メッセ」

の動画は

YOUTUBE の TOPPANチャンネルで、ご覧になれます。

<https://www.youtube.com/user/TOPPANPRINTING/videos>



このQRコードから  
動画にアクセスできます。

## アートサロンの開催

## 臨床美術を用いたワークショッププログラム 「アートサロン」を全国で定期的開催

＜アートサロンとは＞ ※当社のグループ会社である芸術造形研究所が手がける事業

- 自由にアート(美術)表現をしながら、自分の「本当の感情」と向き合い、絵を描くことを通じてメンタル面の活性化を図るプログラム。
- 多様な視点を持つことで、「ストレス解消」「モチベーションアップ」「発想力の強化」「コミュニケーション能力向上」などの効果が期待できる。
- 「イメージ・感覚」を司る右脳を活発に使うことによって、感性やひらめきに働きかけていき、こころの活性化も図られる。

### 美術体験／コミュニケーション体験 創作して、語り合う

- ・感情、感覚を見つめる
- ・感情を発散する
- ・存在を観察する
- ・視点を変える
- ・他者を受容する
- ・受容を学習する
- ・原始の美に触れる
- ・感覚を開放する
- ・自然の癒しを感じる
- ・共同で制作する
- ・自己を受容する
- ・夢、意欲を持つ



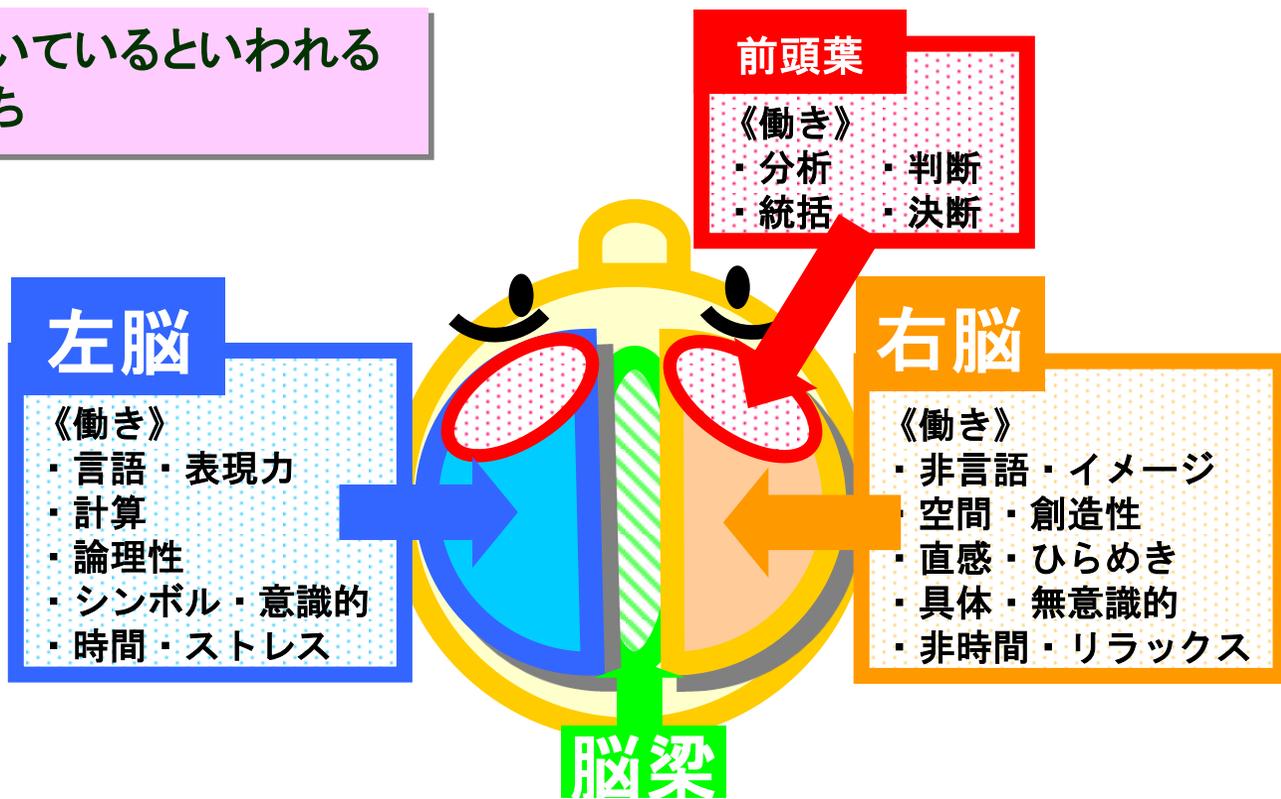
創作した作品の例(りんごの量感画)

## ● 「左脳」と「右脳」について

左脳は「論理思考」を  
右脳は「イメージ・感覚」を司る脳

現代人は、ほぼ90%「左脳」で動いているといわれる  
日常生活では「論理型」に偏りがち

左脳・右脳をバランス良く  
使うことで、心身共に健康な  
生活を送ることができる



アートサロンでは、この「右脳」を活発に使うことによって、  
感性やひらめきに働きかけていき、こころの活性化を図る

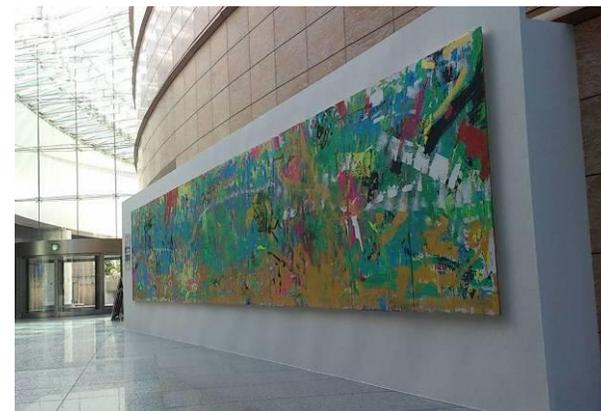
## ● 展開

定期開催講座の他にも様々な形で展開し、参加者から好評を得ている。

### ● はぐくみアートサロン (育児休業中の親子向け)



### ● 休日イベント



### ● 各種研修(新人研修等)



## 「安全衛生基本方針」の策定

トッパンでは、2010年に、**安全衛生基本方針**を策定。

「トッパングループで働くすべての人々の安全と健康を確保することを、企業の社会的責任と考え、事業活動を行う上で、何よりも優先される重要課題」とし、**安全衛生推進の観点からも社員の健康を重要視**している。

凸版印刷株式会社 安全衛生基本方針  
—安全は全てに優先する—

### 〈基本方針〉

トッパングループは、人間尊重の基本理念のもと、当グループで働くすべての人々の安全と健康を確保することを、企業の社会的責任と考え、事業活動を行う上で、何よりも優先される重要課題と認識する。

そして、労働安全衛生諸法令を遵守し、設備の本質安全化を推進するとともに、安全に強い人を育成し、安心して働ける職場環境を永続的に維持・改善をする。

## 「安全道場」の設立

安全に対する意識と危険に対する感受性の向上を目指すため、2010年8月、川口研修センターに**体感型教育施設「安全道場」**を開設。グループ全社員を対象に安全教育を継続的に実施。

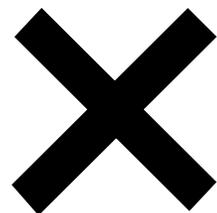
道場での教育だけでなく、**全国の事業所へ出向くキャラバンも実施**。体感教育の累計参加者は約42,000人にのぼる。(2016年3月末時点)

安全道場は社外からの評価も高く、**社外からの教育依頼も増加中**。

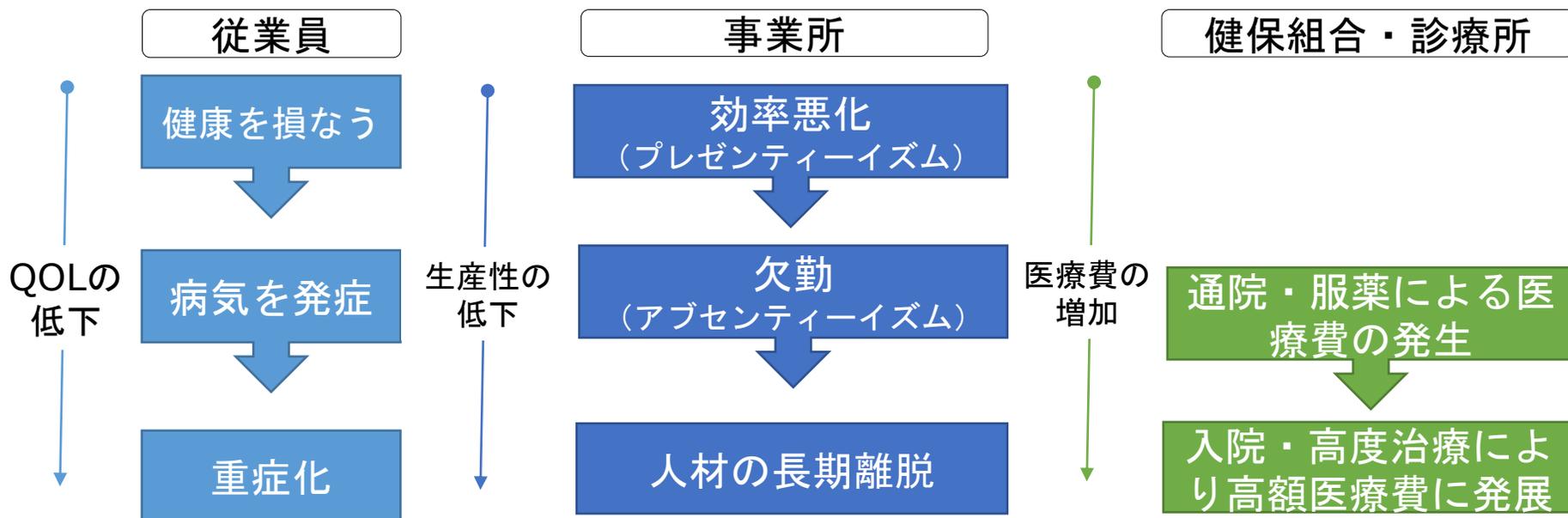


# 健保組合との コラボヘルス

**TOPPAN**



**TOPPAN  
GROUP  
KENPO**



「従業員の健康度の向上」という課題は、事業所と健保がそれぞれの強みを活かして、取り組まないと解決できない。

## 会社と健保の一体となった活動（コラボヘルス）

効果 → QOLの実現      生産性向上・企業価値向上      医療費適正化

## トッパングループGENKIプログラム促進策としてインセンティブプログラムを導入した。

年度	内容	
2010年度	各種保健事業を体系化 第1期スタート 健康づくりポイント 制度実施(ベネフィットワン・ヘルスケア)	
2011年度	↓	
2012年度		
2013年度		第2期スタート KENPOS(イーウェル)
2014年度		
2015年度		
2016年度		



**現在、7000名が参加登録。  
2017年第3期に向けて見直し予定**

### 第1期



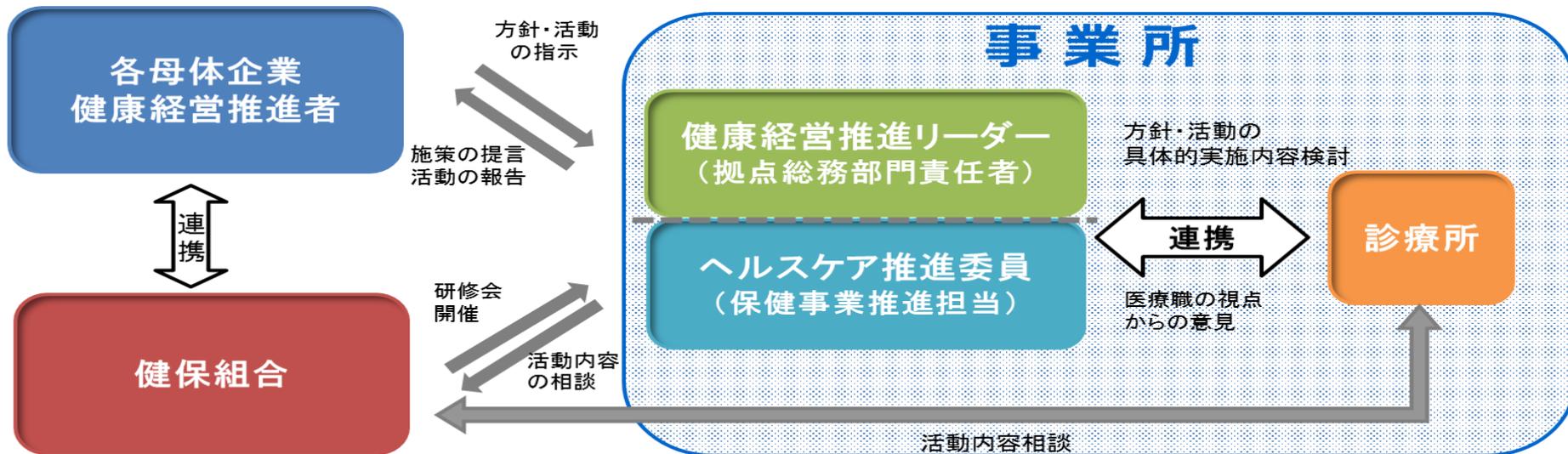
### 第2期



## 全国57カ所に設置し、社員の「元気」をサポート



## グループ全体約160名にヘルスケア推進委員を委嘱。



2016年7月に委員向け研修会を実施し、他事業所で実施している取組事例（栄養・運動・がん啓発等）を共有・体感した。



生活習慣病予防の中でも注力事業として、家族特定健診受診促進、糖尿病・高血圧重症化予防を実施。

## 1.家族の特定健診受診促進

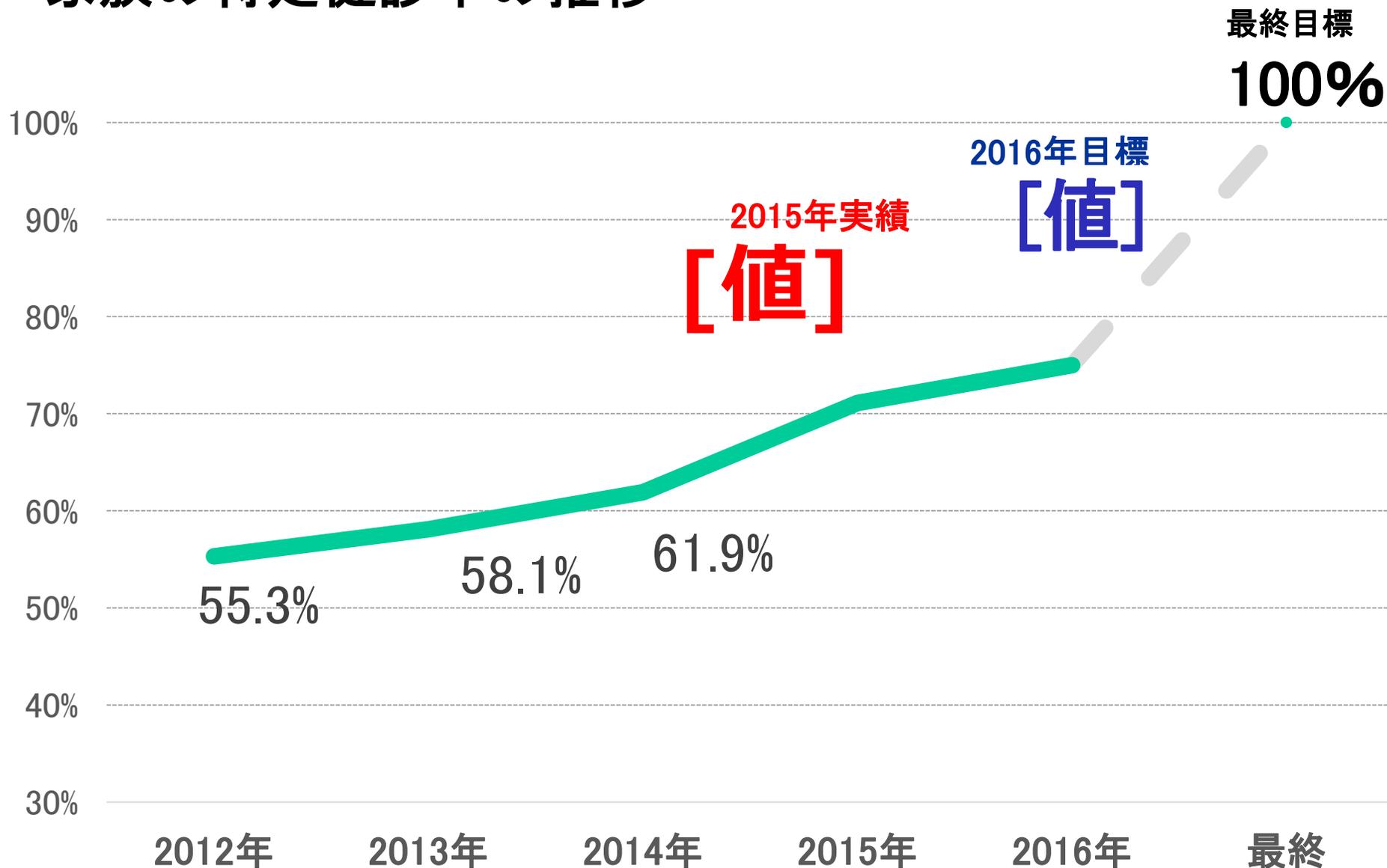


健康診断案内冊子

- 事業所と連携し、社員へ強力な促進
  - **事業所毎の申込率**一覧表配信
  - **未申込者社員へ個別アプローチ**  
(社長名、工場長名等での受診依頼)
  - **各社経営者へ申込促進依頼**(最終月)

- 受診向上のための環境整備
  - **かかりつけ医等**での受診可
  - **受診場所**の増加
  - **女性専用フロア**の広報強化

## 家族の特定健診率の推移



※任意継続被保険者含む

## 2.糖尿病・高血圧重症化予防

### 糖尿病等を中心とした重症化予防に取り組み、腎症等の合併症や人工透析を防ぐ

このご案内は2015年度の健診結果より、糖尿病が疑われる方に送付しております。

### ！ 放置すると、 本当に危険です。

**3人に1人が糖尿病だと気づいていません！**

糖尿病の初期は自覚症状がほとんどなく、見過しがちです。  
しかし、放置しておくとう全身の血管や神経が傷され、やがて深刻な合併症を引き起こします。おもな合併症には、**糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害**の3つがあり長い病程をかけてじわじわと進行します。

**10.0%以上** → **生命維持の危機！**

**7.0%以上** → **やがて**

**細胞死**

糖尿病合併症

- 失明(網膜症)
- 人工透析(腎症)
- 下肢切断(神経障害)

健診結果にHbA1cの値が記載されていますので、今一度確認しましょう。

**！ 就業に影響が出る可能性も！**

糖尿病もしくは糖尿病の疑いがあるにもかかわらず、病院未受診や治療自己中断で放置した場合などは、神経障害や視力障害といった合併症が発生し、就業にも支障をきたす可能性があります。就業にも注意が必要です。

**就業制限**

- 残業ができなくなる
- 出張ができなくなる
- 夜勤などの交替制勤務ができなくなる
- 病欠や休職(療養のため)により一定期間出社できなくなる

**HbA1cを1%下げると合併症のリスクは減少します。**

- 失明 → リスク減少
- 人工透析 → 進行を止めたり遅らせたりすることができる
- 下肢切断 → 予防可能

**糖尿病は、コントロール可能な病気です。**

一度発症したら完治しないものの、血糖値を正常レベルに保つことでコントロールが可能です。そのためには、食事療法・薬物療法などあなたのあった治療を見つけ、継続することが大切です。

**！ 糖尿病専門医を受診してください。**

URLから専門医を検索し電話予約することを推奨いたします。

日本糖尿病学会 専門医検索リスト → <http://www.jds.or.jp/modules/senmon/>

※なお、既に医師の指示に基づき定期的に受診されている方や、医師から「経過観察上のご紹介をいただいている方」に限っては、DM発症の引き起こすリスクがある場合、ご返信ください。



受診勧奨DM  
糖尿病検査(HbA1c7.0以上)対象

生活習慣病予備群対象栄養教室(昼食時)

## 社員食堂と連携した取り組みについて ～Happy & Healthy Canteenプロジェクト～

**Happy Healthy Canteen**  
健康応援プロジェクト  
社員食堂から健康をお届けします

食べ過ぎや偏食、頻繁な外食などの偏った食生活は生活習慣病のもと。  
トッパングループ健康保険組合は  
健康応援プロジェクト「HHC (Happy Healthy Canteen)」を掲げ、  
従業員のみならず身近な社員食堂で  
ローカロリーなヘルシーメニューを提供します。  
健康的な食生活を社員食堂からはじめてみませんか？

生活習慣病が気になる人は  
これだけは守るべし！

その1 主菜、ごはん、味噌汁、小鉢のセットで700kcalに！

その2 種類はつゆ(スープ)を残して、副菜をつけるべし！  
野菜・野菜・きのこが主材料の小鉢やサラダ

その3 ライスは小を選ぶべし！

継続すると良いことたくさん！

高血圧の改善 高脂血症の改善 糖尿病予防

HHC協賛パートナー  
aim Green House SHIDAZU 味の素株式会社 株式会社 デイリーフーズ LPOC

- **身近な社員食堂を食生活改善の場所と捉え、情報を発信していく。トッパンの各地区で受託している社員食堂サービス事業者と連携し、各社栄養士が参加する協議会にて、課題共有、モデル事業の立案を実施**

●HHC協議会(4月、7月実施)



# トッパンの ヘルスケアビジネス

「印刷テクノロジー」を核に、企画立案・制作・運用などありとあらゆる業務を受託する中で培ってきたトッパンの強み。さらには、様々な業界に渡る約25,000社のお客さまとの繋がり。これらを事業活動を通じて社会に提供し、より多くの人々の健康づくりに貢献することを目指す。

トッパンは、「健康増進」「予防・未病」「地域包括ケア」の3つの視点で社会の健康づくりをサポートしていきます。

情報をわかりやすく伝えるクリエイティブ

高度なセキュリティ技術

効率化を支援するコールセンター

事業を支援するためのプロデュース力

トッパン  
の強み



健康イベントへの参加・歩数・健診受診などの健康活動をポイント化し、取り組みを可視化することで、人々が楽しみながら継続的に健康づくりに取り組むしくみを提供。

## 実績 神奈川県横浜市 よこはまウォーキングポイント事業



平成26年11月スタート! (事前申込は9月から)

いろいろなシーンで  
ポイント貯めて、  
楽しく健康づくり!



性別・年代・受診状況などに応じた個人ごとのきめこまやかな対応で、ハイリスク者にアプローチ。行動変容を起こさせ、医療機関への送客を促進。

## 小売流通・メーカーなど多くの企業様へのCRMソリューション ※ の豊富な実績

顧客情報の分析を通じて  
新規顧客の開拓から顧客の上位化、離反防止まで、  
プロモーションの全体開発支援

## 未受診者・糖尿病リスク者などへの行動変容に応用

### ※CRMとは？

Customer Relationship Managementの略。  
顧客の属性や接触履歴を記録・管理し、  
それぞれの顧客に応じたきめ細かい対応を行うマネジメント手法。

[受診対象者の分析・セグメント]

分析する情報 (例)



データ分析によって  
受診対象者をセグメンテーション

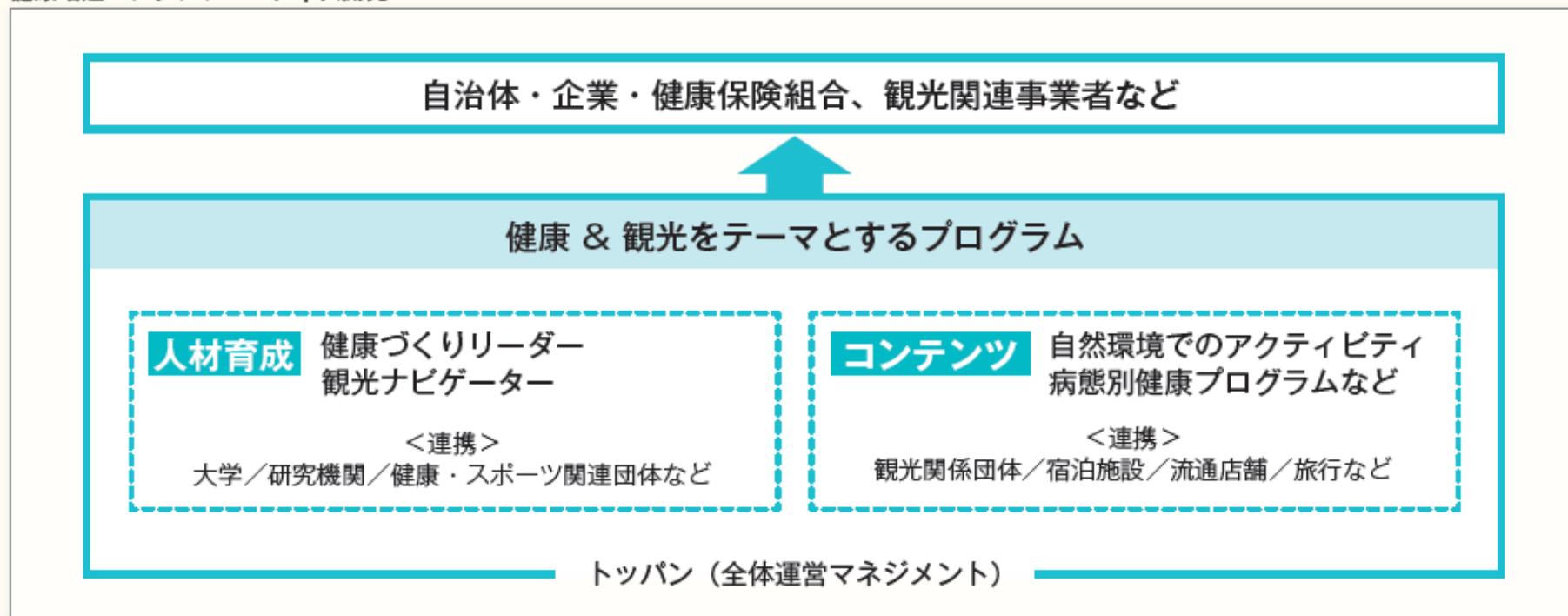


セグメントごとのタッチポイント開発・  
クリエイティブ開発を行う

健康をキーワードに地域の自然や資源を観光プログラム化し、地域活性化にも貢献する「ヘルスツーリズム」の開発を推進。

## ●ヘルスツーリズムの全体像

健康増進コンテンツ・ビジネス開発



地元の自然環境や特産を活かしたコンテンツ開発から、それを牽引するリーダーの育成まで、各団体と連携しながら包括的なソリューションを提供。



トッパンの健康経営に関して、ご不明な点やご質問等がありましたら、下記まで、お問合せ下さい。

## 【問合せ先】

### <電話番号>

- 健康経営に関する取組み全般 : 03-3835-5649 (労政部)
- 健康保険組合に関する内容 : 03-3835-6709 (トッパン健保)
- ヘルスケアビジネスに関する内容 : 03-3835-5594 (経営企画本部)

### <メールアドレス>

**kenkokeiei@toppan.co.jp**

(お問合せの内容に関わらずこのアドレスにお願いします。)